





# 4

## 【屋根板の並べ】

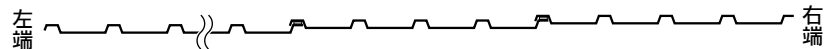
●屋根板は、重ね部分に防水テープを貼りながら前から見て、左端より順に並べていきます。  
 - A・B - 参照  
 ※屋根板の前後にご注意ください。  
 最後が半枚重ねになる場合は、現場でφ8の穴をあけてください。

## 【屋根板の固定】

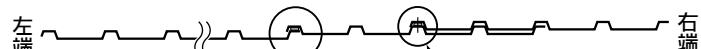
●屋根板は、パッキン・屋根座金とM6ゆるみ止めナットで固定し、屋根用M6ネジキャップでカバーしてください。  
 ※左右両端の部分(★印)は、後で側面化粧板と一緒に固定しますので、この時点では止め付けしないでください。  
 - C - 参照

屋根板の固定には、必ずゆるみ止めナットを使用し、最後に屋根用M6ネジキャップでカバーしてください。

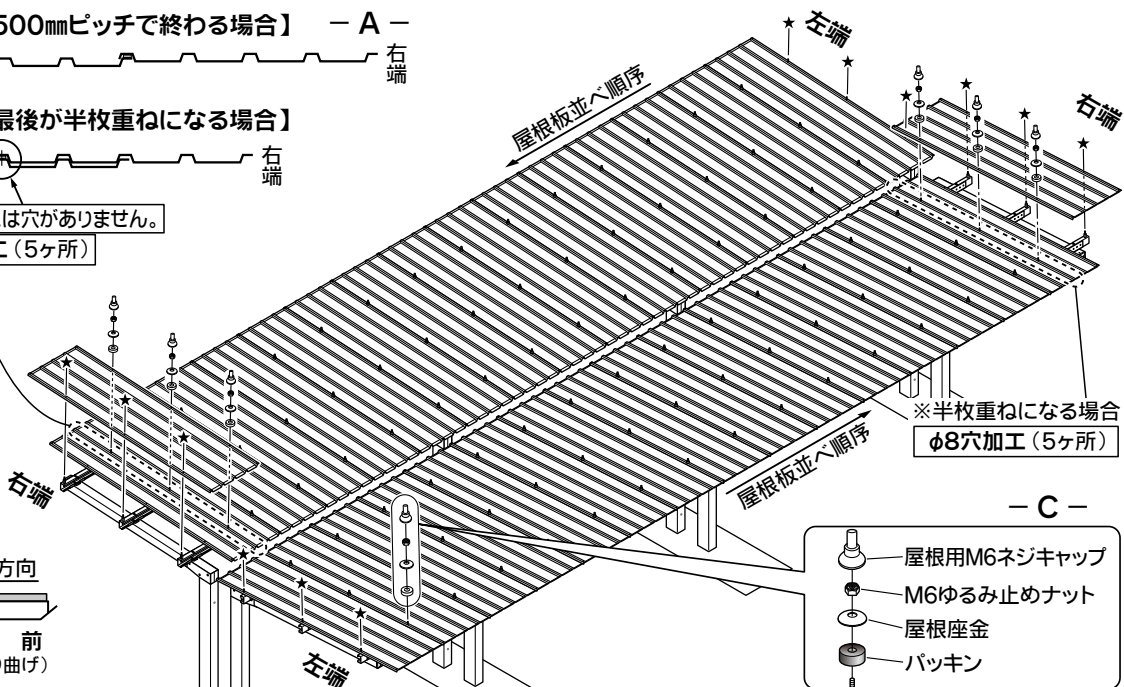
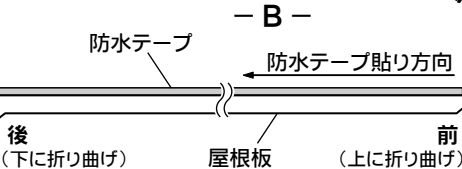
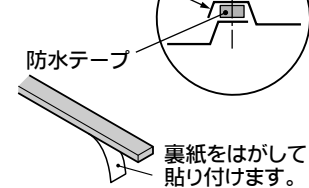
【屋根板の重ね合わせ方法…500mmピッチで終わる場合】 - A -



【屋根板の重ね合わせ方法…最後が半枚重ねになる場合】



この位置には穴がありません。  
 φ8穴加工(5ヶ所)



- 屋根用M6ネジキャップ
- M6ゆるみ止めナット
- 屋根座金
- パッキン

# 5

## 【左・右化粧板の取付】

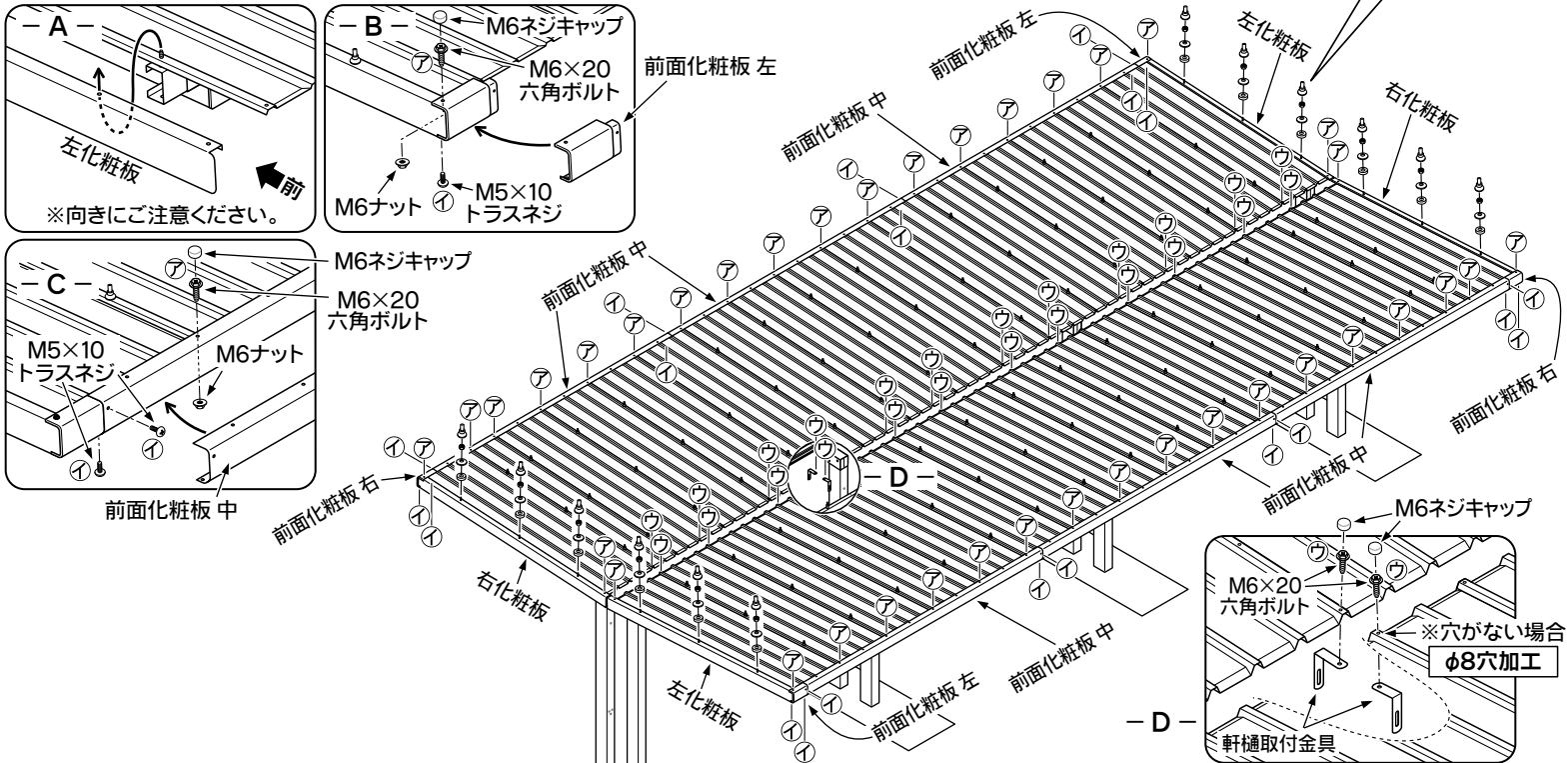
●左・右化粧板を屋根板にかぶせて、パッキン・屋根座金・M6ゆるみ止めナットで固定し、屋根用M6ネジキャップでカバーしてください。  
 - A - 参照

## 【前面化粧板の取付】

●前面化粧板を左→中→右の順で取り付けます。  
 ●図中⑦の位置は、M6×20六角ボルトとM6ナットで固定し、ボルトの頭をM6ネジキャップでカバーしてください。⑧の所はM5×10トラスネジで固定してください。  
 - B・C - 参照

## 【軒樋取付金具の取付】

●図中⑨の位置(軒樋の長さに対して等間隔になる位置)に、軒樋取付金具をM6×20六角ボルトで取り付け、ボルトの頭をM6ネジキャップでカバーしてください。  
 ※屋根板に穴がない場合は、φ8の穴をあけてください。  
 - D - 参照




# 6

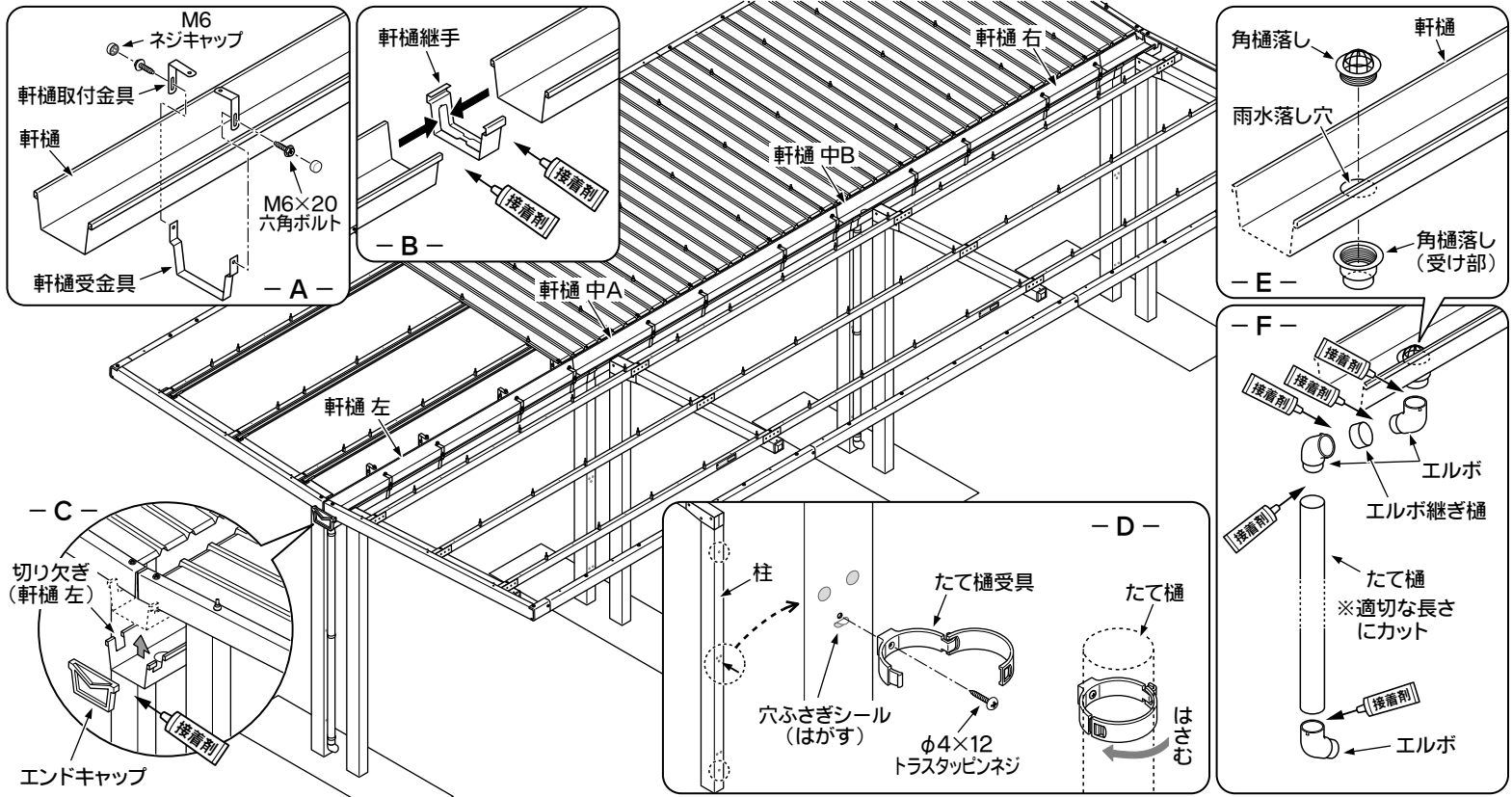
## 【軒樋の取付】

(基礎施工図の裏面もご参照ください。)  
 ●軒樋は、軒樋受金具を軒樋取付金具にネジ止めして固定します。(ボルトの頭をM6ネジキャップでカバーしてください。)  
 - A - 参照  
 ●軒樋同士は、軒樋継手で連結します。  
 - B - 参照  
 ●軒樋の左右両端は、切り欠きを化粧板に合わせて、エンドキャップでふさぎます。  
 - C - 参照

## 【たて樋の取付】

●柱の背面に貼ってある穴ふさぎシールの内、中心線にある3枚をはがし、たて樋受具をネジ止めしてください。  
 - D - 参照  
 ●角樋落しは、軒樋の雨水落とし穴をはさんで角樋落し(受け部)に、ねじ込みます。  
 - E - 参照  
 ●角樋落し(受け部)に、エルボ・エルボ継ぎ樋・たて樋を連結します。  
 - F - 参照  
 ●たて樋を適切な長さにカットし、たて樋受具ではさんで固定します。  
 - D - 参照

軒樋とたて樋の連結部は、必ず接着剤で固定してください。



# 7

## 【ネームプレートの取付】

●ネームプレートの裏側の紙をはがして、右図の位置に貼り付けてください。  
 - A - 参照

組立が終わりましたら、もう一度各部の水平・垂直を確かめ、ネジをしめ付けてください。

## 【土間の施工】

●土間コンクリート打ちを行います。

